

下関短期大学 学習成果

本学では建学の精神・教育理念と学校教育法等を踏まえて学習成果を次のように定めている。

- 『温雅而尚礼節』（人としての温かさと優しさを持ち、礼儀と節度を持って自らを律する）』
の訓を理解し、社会生活において活かすことができる。
- 本学で修得した知識や専門の学芸を生かして社会貢献に努めることができる。

下関短期大学 栄養健康学科の教育目的・教育目標・学習成果について

【教育目的】

本学の教育理念「温雅礼節」および日本栄養士会「栄養士憲章」に基づき、栄養健康学科では、以下を教育目的としている。

食と健康に関わる専門知識と技能を養い、健康的で人間性豊かな生活づくりを指導できる栄養士を養成すること

【教育目標】

栄養健康学科は、食と健康にかかわる専門知識と技能を養い、健康的で人間性豊かな生活づくりを指導できる栄養士を養成することを目的として、3つの教育目標を立てている。

1. しっかりした栄養面の知識を兼ね備えた栄養士の養成
2. 美味しい料理のできる技術を兼ね備えた栄養士の養成
3. 人にやさしい栄養士の養成

【学習成果】

栄養健康学科の学習成果は、以下の3つの観点に基づき、向上・充実を図っている。

1. 栄養士としての専門知識・技術を習得している
2. 食事計画（献立作成）や集団給食ができる
3. 食生活を創造でき、コミュニケーション能力を持つ豊かな人間性を養う

下関短期大学 保育学科の教育目的・教育目標・学習成果について

【教育目的】

本学の教育理念「温雅礼節」および内閣府「幼保連携型認定こども園教育・保育要領」・厚生労働省「保育指針」・文部科学省「幼稚園教育要領」に基づき、保育学科では、以下を教育目的としている。

保育・幼児教育に関する専門知識と技能を養い、社会の多様な保育ニーズに対応できる実力と豊かな人間性を備えた保育者を養成すること。

【教育目標】

保育学科は、「知・技・心」の調和のとれた保育者の養成を行うため、3つの教育目標を立てている。

1. 机上の学習を即現場で実践し即応力を磨く
2. コミュニケーションスキルを幅広く学び対応力を磨く
3. 多様な保育内容表現を学び、どのような現場・場所でも活用できる力を磨く

【学習成果】

保育学科の学習成果は、以下の3つの観点に基づき、向上・充実を図っている。

1. 保育者としての専門知識・技術を身に付けている
2. 保育者として必要な表現活動における能力を身に付けている
3. コミュニケーション力を持つ豊かな人間性を身に付けている